11　拡大文字による試験及び試験時間の延長等　視覚障害の程度により、拡大文字による試験、試験時間の延長等を行う。

12　その他

⑴　受験手続その他受験に関する問合せは、人事院の地方事務局又は沖縄事務所に行うこと。

なお、インターネットによる申込みに関する問合せは、人事院事務総局（〒100―8913 東京都千代田区霞が関１－２－３）に行うこと。

⑵　提出書類等の所要事項は正確に記入又は入力すること。

⑶　受験に際し、身体に障害があるため特に何らかの措置を希望する者は、申込時にあらかじめその旨を申し出ること。

⑷　試験の詳細については、別に作成している受験案内、人事院のホームページ等を参照すること。

別記

専　門　試　験　出　題　分　野　一　覧

専門試験（多肢選択式）

（試験の区分）	（出　題　分　野）
行　政	受験者の選択する次の１から３までのいずれかに掲げる科目 １　次の⑴及び⑵に掲げる科目 ⑴　政治学、国際関係、憲法、行政法、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）、経済学、財政学及び経済政策 ⑵　受験者の選択する次の①又は②のいずれかに掲げる科目 ①　政治学及び行政学 ②　国際関係及び国際法 ２　憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法、国際法、経済学及び財政学 ３　経済理論、財政学、経済政策、国際経済学、統計学、計量経済学、経済史、経済事情、経営学、憲法及び民法（担保物権、親族及び相続を除く。）
人　間　科　学	次の１から３までに掲げる科目 １　人間科学に関する基礎 ２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目 ⑴　人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）並びに心理学における研究方法に関する基礎 ⑵　教育学、福祉及び社会学に関する基礎並びに教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎 ３　認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、社会心理学及び現代社会論のうち、受験者の選択する４科目
工　学	次の１及び２に掲げる科目 １　工学に関する基礎 ２　技術論、基礎化学、工学基礎実験、情報基礎、電気工学、電磁気学、材料力学、流体力学、構造力学（土木）・土木材料・土木施工、土質力学・水理学、環境工学（土木）・衛生工学、構造力学（建築）、建築構造・建築材料・建築施工、計測工学・制御工学、情報工学（ハードウェア）、情報工学（ソフトウェア）、電子工学、通信工学、機械力学、熱力学・熱機関、土木計画、建築計画・建築法規・建築設備、建築史・都市計画、材料工学（材料科学）、材料工学（金属材料・無機材料）、原子力工学（原子核・放射線）、原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、船舶海洋工学（流体）及び船舶海洋工学（構造）のうち、受験者の選択する４科目、５科目又は６科目
数理科学・物理・地球科学	次の１から３までに掲げる科目 １　基礎数学及び情報数学 ２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目 ⑴　線形代数、解析及び確率・統計 ⑵　基礎物理及び地球科学 ３　集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学及び地質学
化学・生物・薬学	次の１及び２に掲げる科目 １　基礎数学、基礎物理、基礎化学及び基礎生物学 ２　数学・物理、基礎物理化学・基礎無機化学、物理化学・無機化学、有機化学、工業化学・化学工学、分析化学・薬化学、薬理学、薬剤学・衛生化学、食品学、土壌肥料学・環境科学・農薬、生化学・分子生物学、応用微生物学・生物工学、発生生物学・生理学、細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、遺伝学・進化学及び生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学のうち、受験者の選択する５科目又は６科目
農業科学・水産	次の１から３までに掲げる科目 １　生物資源に関する基礎 ２　受験者の選択する次の⑴又は⑵のいずれかに掲げる科目 ⑴　農業科学に関する基礎 ⑵　水産学に関する基礎 ３　作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壌肥料学・植物生理学、経済学、農業資源経済学（基礎）、農業資源経済学（応用）、農業経営学、食料政策・農業政策・農業関係法律、家畜育種学、家畜繁殖学、家畜生理学、家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、畜産一般、水産経済学・水産経営学、漁政、漁業学・水産資源学、水産海洋学・水産環境保全、水産生物学・増養殖学、水産化学・水産利用学及び水産一般のうち、受験者の選択する５科目
農業農村工学	次の１及び２に掲げる科目 １　農業農村工学に関する基礎 ２　設計・施工、農業水利学、土地改良、農村計画学・公共経済学、農村環境整備、機械基礎工学、生物生産機械工学、食料機械工学・生物生産施設工学及び環境調節工学のうち、受験者の選択する３科目
森林・自然環境	次の１及び２に掲げる科目 １　森林・自然環境に関する基礎 ２　森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、砂防学基礎、砂防工学、流域管理、造園学原論・造園材料、造園計画（自然公園）、造園計画（都市公園）、木材特性・木質構造、木材加工・材質改良及び木材成分利用（特用林産を含む。）のうち、受験者の選択する３科目